

## 令和4年度鳥栖市市民活動支援補助事業一覧表

番号	支援種類	補助額	事業名及び事業目的	団体名	代表者
1	スタートアップ	100,000	<b>高齢者の居場所づくり、担い手づくりと世代間をつなぐ事業</b> 自宅で過ごしている高齢者や遊び方を知らない子どもが増えている。わくわくするようなことをして仲間づくりをして輪を広げ、実践したことを体得して各々が担い手となり、遊び方を知らない子ども達や高齢者に色々な体験をしてもらい、世代間の交流を図ることを目的とする。	わかば自然塾	久家 三徳
2	ステップアップ	300,000	<b>DEPOPIC(デポピック)～遊びの祭典に出かけよう～</b> 普段スポーツにあまり触れることがない人でも自然と気軽に様々なスポーツを体感できるきっかけとなるイベントを開催する。スポーツをもっと身近に感じてもらい、スポーツの本来の意味である「気晴らし」「楽しさ」といった多様な関わり合いが当たり前に行える環境づくり及びスポーツ文化を鳥栖市に定着させることを目的とする。	ノビトワークス	原田 光
3	スタートアップ	100,000	<b>無煙炭化器による温暖化の解決と発酵型の土作り事業</b> 無煙炭化器を鳥栖市の多くの人に広めることで温暖化の原因と言われるCO2を削減しながら自然の力を有効活用し、持続可能な循環に切り替えるきっかけ作りを目的とする。	ココмам	杉山 径子
4	スタートアップ	100,000	<b>鳥栖にわか振興会 後継者づくり事業</b> コロナ禍により、生活に様々な制限ができストレスがたまつた市民の皆さんに「笑い」を届ける。「笑い」は、ストレス解消となり免疫力を高め心身を健康にする。団員の高齢化により団体存続の危機に面しており、団体のPRをし後継者を作り、今後も「笑い」を届け心身を健康にする活動を継続することを目的とする。	鳥栖にわか振興会	寺崎 理禮
5	スタートアップ	100,000	<b>ボードゲームの体験会及びボードゲームのレンタルを行なう事業</b> ボードゲームを通じて子どもの主体的な学びや、他者との対話、意思決定を経験する機会を提供する。多世代でのコミュニケーションを促進し、ゲーム依存症(ネットゲーム)の問題防止・解決に繋げることを目的とする。	ボドボド会	保坂 大樹
6	スタートアップ	100,000	<b>親子の居場所づくりと世代間をつなぐ事業</b> 貧困、孤育てのような社会問題を抱える子育て世帯を中心に、様々な物事の捉え方や多様な柔軟性のある考え方がある事を知ってもらい、悩み事を独りで抱え込むことなく気軽に話せる環境を作り、困難の軽減や孤立の解消を目指し、多様な人と出会える地域の居場所を作る事を目的とする。	いろいろ	齋藤 寛子

※鳥栖漆会は辞退

種類別申請数	件数	補助申請額
スタートアップ	5	500,000
ステップアップ	1	300,000
パワーアップ	0	0
計	6	800,000